

演題名
ゴシック
フォント 14

当院歯科人間ドック外来における 受診者数向上のための実施改善策について

発表者名
明朝
フォント 10.5
筆頭者に○印

○深津晶¹⁾、續橋治¹⁾、布施恵¹⁾、市村真奈¹⁾、田中宏征¹⁾、小西里美¹⁾、
秋山互¹⁾、井下田繁子²⁾、内山敏一³⁾、有川量崇⁴⁾、福本雅彦¹⁾、牧村正治¹⁾

発表者所属
明朝
フォント 10.5

日本大学松戸歯学部歯科臨床検査医学講座¹⁾、日本大学松戸歯学部口腔インプラント
学講座²⁾、日本大学松戸歯学部再生歯科治療学講座³⁾、日本大学松戸歯学部社会口
腔保健学講座⁴⁾

以下本文（フォント 10.5 40 字×25 行以内）

【目的】当院の歯科人間ドック外来は平成18年に開設された。しかしながら、直近の2年間は受診者は減少傾向にあった。一方、超高齢化社会を迎え国民の健康への関心は一層高まっている。その中でも疾病の早期発見や予防の重要性については広く認知されている。また、近年では全身疾患と歯周病菌との関連、残存歯牙数と年間医療費支出額などが各種メディアにより報道され、口腔領域と全身とのつながりがクローズアップされてきている。このことを鑑みると、現代における歯科人間ドックの需要は少なくないと推察される。このような社会背景にも関わらず、受信者数が減少していることはドックメニューの魅力および認知度が不足しているものと考えた。そこで本年6月よりドックメニューのリニューアルおよび情報宣伝活動の強化、更に当院インプラント科との連携を実施し、成果を得たのでここに報告する。

【実施方法】一般ドックメニューとして唾液中の細菌数測定検査、歯周病原菌の血清抗体検査、口臭測定検査を追加した。また、インプラント治療希望患者に対しての歯周病原菌の血清抗体検査を必須とした。情報宣伝活動としては月2回の歯科人間ドック説明会の実施、各ユニットブースへのポスターの貼付、各種地域活動の際にパンフレットの配布およびブログの立ち上げを行った。

【結果および考察】ドックメニューのリニューアル、宣伝活動の強化を実施した6月から10月までの受診者は7名であった。昨年度、一昨年度の年間実績が各2名、4名であり、大幅な増加結果を得た。また説明会への参加者は現在まで計6名と少ないが、参加者全員が受診を希望し実施または予約を得た。この結果から適切なインフォームドを行えば受診者は増加すると推察された。インプラント治療を行うことを前提とした歯科人間ドックの受診者は26名であった。これらに関しては、インプラント術前検査の一部として行うので、インプラント治療需要の増加を考えるとさらに受診者が増加すると推察される。今後は、リピート検診のための通知の徹底、ドックの説明方法および実施内容の充実をはかる所存である。